

新規事業候補箇所の選定の考え方

新規事業候補箇所の選定の考え方【高規格幹線道路・地域高規格道路以外】

【対策未実施区間（「新規事業候補区間」）の抽出】

1. 東北の直轄国道全線（約2,800km）
○道路センサス区間毎に分割 **【1,524区間】**

2. 改築事業等実施中以外の区間（「新規事業候補区間の抽出」）
○改築事業等の実施中区間、計画段階評価が完了した区間に並行する現道区間を除外 **【896区間】**

3. 課題抽出の視点 **【620区間】**
 ①渋滞：主要渋滞箇所※1を有する区間（243区間）
 ②事故：事故危険箇所※2を有する区間（379区間）
 ③道路構造：急勾配、急カーブ、狭小幅員箇所の有無（209区間）
 ④防災・災害：事前通行規制・災害発生・津波浸水区間（163区間）

4. 総合的な観点からの選定

地域における道路交通上の課題

地域からの意見・要望

事業実施環境等が整っている区間

○対象事業区間の選定結果 **【2区間】**

H28年度新規事業候補箇所に選定 一般国道4号 大衡道路

- ・主要渋滞箇所：1箇所
- ・混雑度：2.09
- ・歩道狭小幅員箇所：2区間
- ・地域産業等：仙台北部中核工業団地
- ・計画段階評価完了：平成27年8月
- ・都市計画決定：平成28年1月

【課題抽出の視点】

課題	指標	判定
①渋滞	渋滞箇所区間 主要渋滞箇所を有する区間	主要渋滞箇所に該当 地域の委員会等で特定された箇所※1 (H25.1公表)
②事故	事故危険区間 事故危険箇所を有する区間	事故危険箇所に該当 地域の委員会等で特定された箇所※2 (H23～H26年度公表資料)
③道路構造	急勾配箇所 急カーブ箇所 狭小幅員箇所 道路構造令の規定値を満たさない箇所	I=5%以上 R=150m以上 W=8.0m以下 道路構造令の規定
④防災・災害	事前通行規制区間 災害発生区間 津波浸水区間 異常気象時で事前に通行が規制される区間 過去5年間に災害が発生し、全面通行止め又は片側交互通行止めを実施した区間 津波浸水区域を有する区間	規制区間に該当 発生区間に該当 -

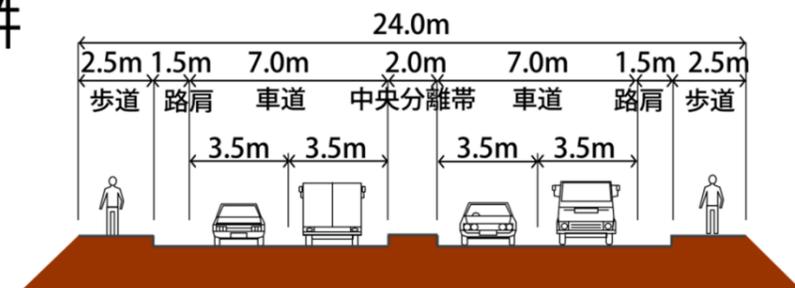
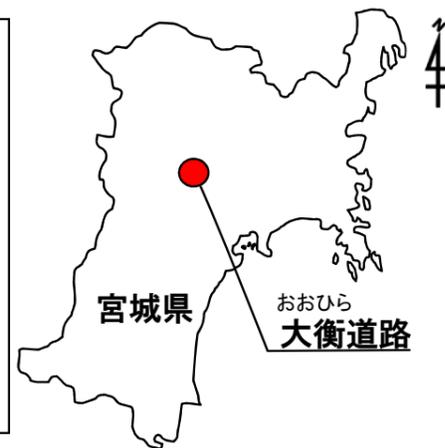
※1 主要渋滞箇所：速度データ（プローブデータ）等や道路利用者等の意見を踏まえて、各県渋滞対策協議会で選定した箇所

※2 事故危険箇所：事故データや地域の声等を踏まえて、各県道路交通環境安全推進連絡会議等で選定した箇所（区間）

整備局名	都道府県名	事業名	事業延長	車線数	計画交通量	全体事業費	B/C	前後区間の状況
東北	宮城県	一般国道4号 ^{おおひらどうろ} 大衡道路	4.5km	4/4	27,300台/日	79億円	1.8	前：供用中 後：供用中

■事業の経緯

- 平成26年 6月 計画段階評価着手
- 平成27年 8月 計画段階評価完了
- 平成28年 1月 都市計画決定
- 平成28年 3月 東北地方小委員会(新規事業採択時評価)



▲計画横断図(m)

